



九州における木材の土木利用に関する講習会 2019 ～流木材の有効利用を考える～

九州橋梁・構造工学研究会 (KABSE) は、土木学会西部支部と共催で、財団法人福岡県建設技術情報センターの講習会等助成事業の助成により、以下の講習会を開催いたします。

近年の豪雨災害では、大量の流木を伴うものが多く発生しています。流木は、直前までは立木であり、伐採されれば資源であったものですが、流木となったことで多くが廃棄物となっています。もしこれらを利用することができれば、環境負荷の低減や処理費用の削減が実現でき、利益を復旧復興費用に充てることもできるかもしれません。ところが、流下の際の思わぬ損傷や土砂混入の可能性があるかもしれず寸法もまちまちであることから、有効利用は簡単ではありません。私たちは、このような流木材の有効利用の方法を探るべく、研究活動を続けてきました。

本講習会では、流木の性質や有効利用の考え方、方法に関する研究成果を報告します。あわせて、(一社)NME研究所所長の牧角龍憲氏より「近未来型林業と土木分野における木材利用の可能性」と題したより広範囲な特別講演をいただきます。土木分野における木材利用の最新事情がわかる内容となっておりますので、多数のみなさまにご聴講いただきますようご案内申し上げます。

名 称 九州における木材の土木利用に関する講習会 2019
～流木材の有効利用を考える～
主 催 (一社)九州橋梁・構造工学研究会
共 催 (公社)土木学会西部支部
後 援 (公社)地盤工学会九州支部 (一社)日本木材学会九州支部
(公社)日本木材加工技術協会九州支部
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
(公社)日本技術士会九州本部 (一社)木橋技術協会



日 時 2019年6月28日(金)14:00～17:30

会 場 電気ビル共創館カンファレンスルーム B(福岡市中央区渡辺通 2-1-82)

参加費 2,000円

継続教育 土木学会 CPD プログラム(認定番号:JSCE19-0444/3.3単位)
※建設系 CPD 協議会認定プログラムです

参加申込 参加者氏名、所属、連絡先を KABSE 事務局までお知らせください。先着 80 名で受け付けます。締め切りは 6 月 20 日です。これ以降も空席があれば参加できます。事務局にお問い合わせください。

情報交換会 終了後、近隣で交流会を行います。会費は 3000 円程度を予定しています。ご参加いただける方は参加申し込みと合わせてお知らせください。(この参加費は講習会受付時に徴収いたします。)

問い合わせ先 812-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F
(株)長大 福岡支社内

九州橋梁・構造工学研究会事務局 Tel/Fax 092-737-8570

参考情報は → <http://tbl.tec.fukuoka-u.ac.jp/kabse-wood/>



九州における木材の土木利用に関する講習会 2019 ～流木材の有効利用を考える～

日時 2019年6月28日(金) 14:00～17:30

会場 電気ビル共創館カンファレンスルーム B (福岡市中央区渡辺通 2-1-82)

プログラム

司会:山口 順一郎(株長大)

14:00～14:05 開会あいさつ

14:05～15:05 《特別講演》近未来型林業と土木分野における木材利用の可能性
牧角龍憲氏(NME 研究所所長・九州共立大学名誉教授)

(休憩)

15:15～15:35 流木材の有効利用をどう考えていけばよいか
朝野 景(福岡県資源活用研究センター)

15:35～16:05 流木材はどのような強度的性質を持っているか
渡辺 浩(福岡大学・分科会主査)

16:05～16:25 流木材は伐採材と同様に加工できるのか
藤本 登留(九州大学大学院農学研究院)

(小休憩)

16:30～16:45 流木材をどのように使っていけるか～資材利用の観点から
稲垣 浩通(飛島建設)

16:45～17:00 流木材をどのように使っていけるか～地盤改良の観点から
宮副 一之(九州構造設計)

17:00～17:25 総合討論

17:25～17:30 閉会あいさつ